

ソリューション提案のお取り組み事例②



盛岡展示場 外観



O様邸 外観

創蓄連携システム+AiSEG2+スマートコスモをご採用。
お客様から電力データをご提供いただき営業ツールにご活用。

株式会社リベスト様 [岩手県 奥州市]



株式会社リベスト 代表取締役 相原一徳様



株式会社リベスト 設計部部長 佐々木大輔様



株式会社リベスト 設計部次長 YUCACOシステム 推進室長 川村修様

寒さ厳しい岩手県でZEHの普及に貢献し、「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2019」大賞を受賞された株式会社リベスト様。パナソニック製品を活用した「光熱費の最小化」の取り組みをご紹介します。

エアコンによる「YUCACO(ユカコ)システム」で全館空調での「光熱費の最小化」を目指す。

1992年に創業された株式会社リベスト様は、岩手県内で新築・戸建ての全館空調の家を提供されている地域工務店で、年間約170棟の施工実績があります。

2003年頃からオール電化住宅を手がけるようになり、現在、断熱性能がUA値0.24~0.26、躯体性能HEAT20のG2レベルを標準仕様として提供。さらに4kWの家庭用エアコン1台で冷暖房した空気を住まい全体にダクトで送風し、全館空調する「YUCACO(ユカコ)システム」を採用し、「光熱費の最小化」を目指しておられます。

「東北は冬の寒さが厳しく、10月から4月くらいまで、ほぼ半年もの間、暖房を使用します。特に昨今はオール電

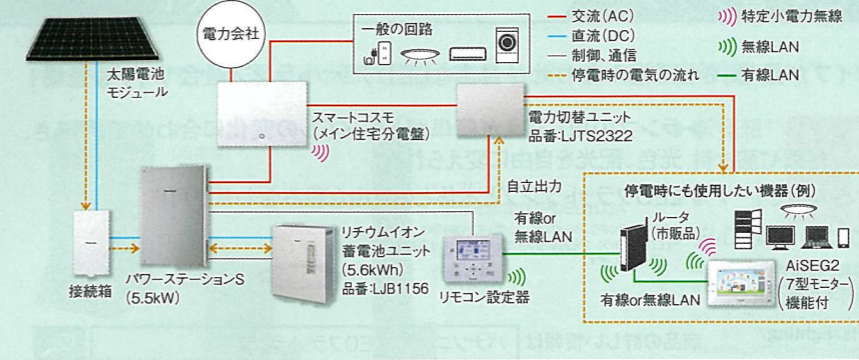
化住宅の普及が進んでいるため、エアコン暖房時の電気代を下げることに、当社も最大の目標を置いています。

「YUCACO(ユカコ)システム」においても、空調機能のシステムに頼るだけでなく気密・断熱性能や躯体性能も関東・関西とは全く違うレベルで引き上げなくては消費電力量が下がらない、という点がポイントです。お客様には数値ではわかりづらい快適性を実感していただくために、モデルハウスでの宿泊体験を継続的に実施しています。



宿泊体験型モデルハウス。「お試し旅館「常春亭」」を県内3会場に合計7棟ご用意されています。24時間快適なYUCACOシステムの体感や間取りの参考になり、お客様にご好評です。

「YUCACO+ZERO+R」でご採用いただいた設備機器の例



その他ご採用機器(例)



過乾燥を防ぐためのIAQ制御熱交換気実邸データを営業活動に使えるAiSEG2。

同社で採用されているパナソニック製品は、AiSEG2、IAQ制御搭載熱交換気システム®、住宅用火災警報器、インターホンなど。最近では太陽光発電と蓄電池も搭載し、「YUCACO+ZERO+R」というブランド名でZEHの販売を進めています。

「パナソニック製品で特徴的だと感じるのは、24時間換気システムです。以前は他メーカーの顕熱式の第1種換気システムを使っていたのですが、顕熱式なのでどうしてもエアコンの全館空調をすると過乾燥になってしまいます。そこで機種の高さや施工性も考慮して、パナソニックのIAQ制御のものを3年前から本格的に採用。おかげで、全館空調で24時間エアコンを使用しても室内の湿度は40~45%に保たれ、お客様が加湿されなくても快適な温湿度となっています。

また、活用の幅が広がっているのがAiSEG2です。まず、お客様がAiSEG2のデータをご覧になり、「思ったより電力消費量がある」といったセルフチェックに使われます。もちろん、パナソニックのアプリを利用することで、外出先からスマートフォンでご自宅の様子や消費電力量をチェックすることも可能です。さらにリベスト様では、定期点検時にお客様のご了承を得てデータを回収し、営業ツール化して活用されています。「検討中のお客様に「実邸の電力使用量はこれぐらいですよ」とお見せすると、「シミュレーションではなく、生のデータなので信用できる」と、ご好評をいただいております。

1年前から、太陽光発電システムと蓄電池もパナソニック製品をご採用。以前より配線器具はパナソニック

製品を採用されていたことや、実邸データを取得する上でパナソニックの太陽光発電と蓄電池がもっとも相性がよかったことがその理由だとおっしゃいます。

最新設備機器の最適な組み合わせを探り、消費電力量を削減したい。

ZEHを実現するのが難しい北国にあって、同社のZEH施工率は40%以上。その成果が評価され、「YUCACO+ZERO」は岩手県で初めて、一般財団法人日本地域開発センターが主催する「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」の2019年度大賞を受賞。さらに5年以上の連続受賞企業に贈られる特別優秀企業賞もW受賞されました。そして2020年度も特別優秀賞と省エネ住宅特別優良企業賞をW受賞されました。

「今後は更なる高性能化に向けて、断熱性能がHEAT20G3レベルの建物を5棟完成させ、お客様の入居後の光熱費データを計測し、『超高性能』住宅の商品化を目指しております。建物そのものの更なる高性能化と、AIなどの新しい技術や新しい商材を上手に組み合わせ、より光熱費のかからない建物を目指し岩手県のお客様に提供して参ります」と語られました。



愛知県春日井市のパナソニック エコシステムズにて
後列左より
パナソニック エコシステムズ 高橋、末宗、盛岡営業所 夏谷、リベスト 川村様、
日本建築センター 坂本先生、パナソニック エコシステムズ 本郷
前列左より
岡田電気産業 菅原様、盛岡営業所 高野